

ゴミ公害から自然を守ろう



6月5日～11日

環境週間

六月五日から十一日まで、環境週間です。わたしたちの家庭から出るゴミの量は、年々、増える一方です。いまや「ゴミ戦争」といわれるほどで、膨大なゴミの量と処理費用の増大は財政的にも深刻化する一方です。また、山や海などの自然も、ゴミ公害に泣いています。レジャーを楽しむ人たちのマナーの悪さが、貴重な自然を痛めつけているのです。ゴミ公害からわたしたちの環境を守ろう——よりよい環境を求めて一人一人が気をつけましょう。

自然はみんなのもの

憩いの場所をゴミから守ろう

たまの休日、家族そろって大自然のなかの一家団らんは、心はずむ楽しいひと時です。しかし、せっかく訪れた山や海がゴミだらけ空きかんだらけでは、楽しい気持ちもすっきりさめてしまいます。

ふだん家庭のなかではきれいさきでも、一たん外に出ると、とたんに「ゴミ無関心派」になってしまふ人は、意外と多いものです。「私一人ぐらいは……」という気持ちから、ついゴミをポイと捨ててしまう。それが積み積もって「ゴミの山」になるのです。

家庭で出る生活ゴミは、一日平均約一キログラムといわれます。これに比べて観光地のゴミは、一人当たり約五〇キログラム。家庭のゴミの二十分の一にすぎないものの、人がたくさん集まると、膨大な量にふくれあがるのです。

家族そろってのピクニックやハイキングでは、ゴミの扱いについて、まず親が子供たちに見本を示

しましょう。出たゴミは必ずまとめてゴミ箱へ、空きかんは指定の

場所に捨てることにしましょう。出かけるときに、ゴミ用のビニール袋などを用意しておくことと便利です。自然はみんなの憩いの場所です。一人一人の心がけで、きれいにしましょう。

ゴミの再利用で「一石三鳥」

ゴミといえば、汚いもの臭いものなどというイメージがすぐ浮かびますが、全部が全部そうではありません。

ゴミの中身を分析してみますと、一般家庭から出るゴミの約半分は台所などの生ゴミですが、残りの半分は、資源として再利用できる新聞紙や古雑誌などの紙類、空きかん類、びん類などです。

これらの「資源」は、元はといえば、そのほとんどが輸入に頼っているのが実情です。紙の原料となるパルプ材は全体の六〇%、鉄やアルミニウムにいたっては、九〇%を外国から買っているのです。このような「輸入資源」を一回使ったきりで捨ててしまうのは、

もったいない話で、まさに資源のムダ使いです。「ゴミの再利用」は、資源の有効活用になるほか、ゴミの量が減って清掃・処理費用が少なくて済み、同時に環境の美化につながるという「一石三鳥」の効果をおぼろげに感じられます。ゴミは選別して、それぞれの回収ルートにのせるようにしましょう。



世帯更正資金の利用を

世帯更正資金は、低所得者の生活安定と更正、および、身体の不自由な方の更正に必要な資金をお貸しする制度です。

貸付利率 年三%（修学資金は無利子）

償還期間 三年～二十年

貸付種類と限度額

- ①更正資金と身体障害者更正資金（ア）生業費、事業や商売などを開始する場合の資金 百二十万円（イ）支度費、就職する場合の支度金 五万五千元
- ②住宅資金 住宅の増改築と補修などの経費 九十万円
- ③修学資金 高校以上の学校で修学するのに必要な学費 月額八千円～一万九千円
- ④療養資金 病気や事故で療養するのに必要な費用 十五万円
- ⑤福祉資金 出産や結婚などの経費 十二万円
- ⑥生活資金 療養期間中の生活費 月額五万四千円

そのほかに技能習得費、就学のための支度費があります。これらの資金の借り受けを希望する方は民生委員にご相談ください。